

北方領土新聞

北方領土問題とは？

発行者

兵庫県
姫路市立
安富中学校

日本とロシアの今の関係

現在も北方領土問題は解決されていません。しかし、話合いは進んでいます。安倍総理と普京大統領の首脳会談では、平和条約交渉を加速させることで合意されました。

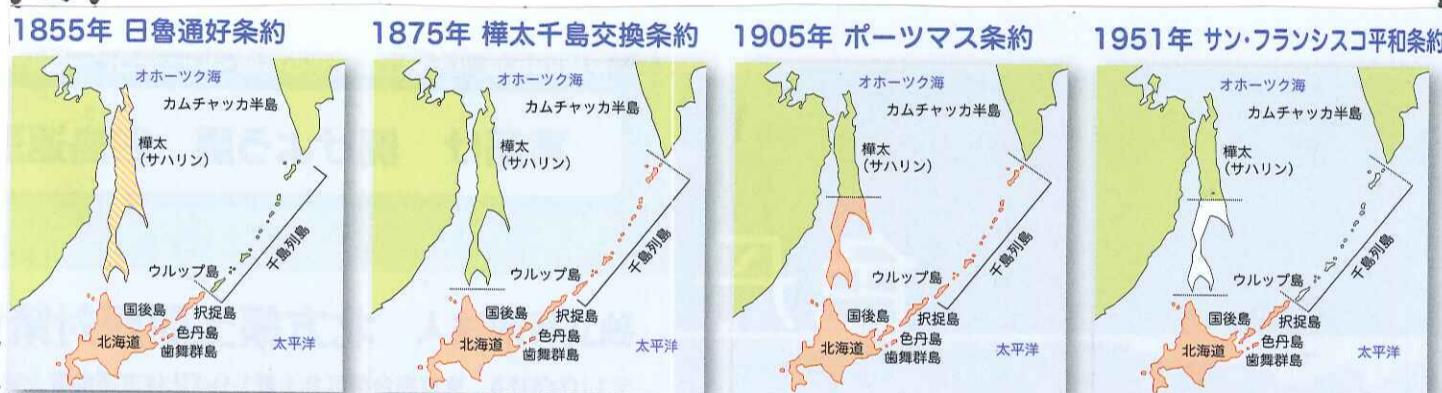
北方領土は、北海道本島の北東洋上に位置する、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の四島です。

今から一六〇年以上前の一八五五年二月七日、日本とロシアは日露通好条約を結び、当時自然に成立していた択捉島ヒルップ島の間の国境をそのまま確認しました。

しかし、日本の終戦の年、一九四五年八月九日、ロシア(ソ連)は当時まだ有効であった日ソ中立条約に違反して対日参戦し、日本がボツダム宣言を受諾した後の同年八月二十八日から九月五日までの間に北方四島のすべてを占領しました。

そして、ロシア(ソ連)は一九四六年に、当時四島(歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島)に住んでいたすべての日本人を強制退去させました。

それ以降、今日に至るまでソ連、ロシアによる占拠が続いており、日露間ではいまだ平和条約が締結されていません。



元島民の思い

私の意見は、日本人とロシア人が一緒に住んだら良いと思います。現在北方四島で生まれ育ったロシア人も多數いると思います。現在我もロシア人と日本人の交流も続いているので、一緒に仲良く住めば、日露関係も良くなると思います。

北方四島出身の方のお話やロシアに占拠された様子を描いた映画を見たり聞いたりしました。思っていたより痛々しくて、北方四島から日本人を追い出すときの日本人の扱い方が、まるで奴隸のようでした。

私は平和な時代に生まれたので、故郷が失われた悲しさ、戦争の恐しさなどを直に感じたことがありません。今回、貴重な体験をさせていただけて、決して他人事と考えてはいけないと思いました。私はこの研修で北方領土の話を聞く人ではなく、情報発信者となりたので下でも多くの人に伝えていきたいです。

感想



解決に向けて進んでいると知って安心しました。そう簡単に解決しないのは分かっていますが、なるべく早く解決して、元島民の方が故郷に戻れたら良いなと願っています。